

## 社団法人 日本写真測量学会 関西支部

### 第 48 回空間情報話題交換会 開催報告

2008 年 12 月 12 日、常翔学園（旧学園大阪工大摂南大学）・大阪センター 301 において第 48 回空間情報話題交換会を開催しました。

今回は、「多偏波マイクロ波リモートセンシングの実利用の可能性」、「伝統的建造物保存地区での地上 LiDAR 計測とモデル化」というタイトルで、京都大学大学院 須崎 純一様に講師をしていただきました。

須崎様が準備してくださいましたパワーポイントをもとに、「多偏波マイクロ波リモートセンシングの実利用の可能性」では、2006 年に打ち上げられた PALSAR の多偏波データや多偏波合成開ロレーダを解析することで人工構造物や農地など地表面の様々な散乱特性を得られる可能性についてお話いただきました。

また、「伝統的建造物保存地区での地上 LiDAR 計測とモデル化」では、景観や、建物高さ規定の視覚的効果等を定量評価する手法として地上 LiDAR 計測を行い、点群データを面的にモデル化する手法についてお話いただきました。

当日は、学校関係者 17 名・官公庁職員 2 名・企業 19 名の総数 38 名も参加し、満員の講義となりました。

本講習会は、地理情報システム学会「GIS 上級技術者の教育達成度」履修ポイントの認定を受けており、終了後に参加者へ認定書が配布されました。

最後に、講師をしていただきました京都大学大学院 須崎 純一様に御礼申し上げます。



写真-1 満員の会場の様子



写真-2 京都大学大学院 須崎 純一様